

若年者ものづくり大会 大舞台での活躍誓う

秋田市で 職能短大から2人出場
壮行会

第20回若年者ものづくり競技大会（8月3～4日、香川県など）に出場する本県代表選手の壮行会が10日、秋田市のメトロポリタン秋田で開かれ、北鹿関係の2人を含む10人は大舞台での活躍を誓った。

厚生労働省と中央職業能力開発協会が主催する全国大会。技能習得中の原則20歳以下を対象に15競技があり、北鹿関係は佐藤颯さん（19）
秋田職業能力開発短大Ⅱが電

子回路組み立て、齋藤朱里さん（19）
部で技術力を競う。

壮行会には選手や保護者、所属校の教諭ら約40人が出席。県職業能力開発協会の佐藤賢一郎会長は「練習成果を遺憾なく発揮し、納得のいく大会となることを願う」と激励し、選手一人一人に県代表

の認定証を授与した。

続いて決意表明が行われ、佐藤さんは「全国の舞台で戦えるよう技術を研さんしてきた。本番は緊張しないよう頑張りたい」。齋藤さんは「支えてくれた人たちへの感謝を忘れず、大会を楽しみながら悔いの残らない作品を作りたい」と抱負を語った。



県代表の認定証授与が行われた壮行会
（ホテルメトロポリタン秋田）